

【お願い】発熱症状、風邪症状がある方の診療受付は、施設内に入らず、お電話下さい。(0248-53-2415)

	月	火	水	木	金	土	日/祝祭日
午前 受付時間 8:30~ 11:30	小林利男 整形外科・内科	小林利男 整形外科・内科	内藤 梓 消化器内科・外科	小林利男 整形外科・内科	小林利男 4/4 診療 整形外科・内科	小林利男 4/5.19 診療 整形外科・内科	休診
		内藤 梓		内藤 梓	内藤 梓	内藤 梓	
		消化器内科・外科		消化器内科・外科	4/11.18.25 診療 消化器内科・外科	4/12.26 診療 消化器内科・外科	
午後 受付時間 13:30~ 16:00 (水曜は 14:30まで)	北原正樹 内科・形成・ 皮膚	小林利男 整形外科・内科	内藤 梓 消化器内科・外科	小林利男 整形外科・内科	小林利男 4/4 診療 整形外科・内科	小林利男 4/5 診療 整形外科・内科	休診
	緑川博文 4/7 診療 心臓血管外科	内藤 梓 消化器内科・外科	水曜 14:30 受付終了	内藤 梓 4/10.17.24 診療 消化器内科・外科	内藤 梓 4/11.18.25 診療 消化器内科・外科	内藤 梓 4/12.26 診療 消化器内科・外科	
	月曜午後【心臓血管外科】 (14:00~の診療となります)			八木正樹 4/10.17.24 診療 小児科		小鹿山博之 第3土曜日診療 内科・脳外科	

※都合により診療時間や医師の変更がある場合がありますので、詳しい診療案内等はお問合せ下さい。
電話53-2415 電話受付時間 8:30~17:00

※眼科は予約制となっております。
(事前に電話または窓口にてご予約下さい)

※日曜・祝祭日・年末年始の休日の当番医は0248-23-9909
(しらかわ情報センター)で確認いただけます。



泉崎南東北リハビリテーション・ケアセンター施設方針

当施設は「すべては利用者さんのために」を目的として「ISO9001」や「ISO14001」に基づいて統合マネジメントシステムを運営し顧客満足度を維持しつつ、地球上の環境汚染防止や資源の無駄遣い防止を推進し、医療・介護・福祉サービス活動において常に考慮し社会貢献に努め、何をどこまでどう変えるのかを決めて活動し、その結果を振り返りながら、更に良くなるよう継続して改善活動をしていきます。

- ・患者さん、利用者さんに公正なサービスを提供する。
- ・医師による説明と患者さん、利用者さんの選択に基づくサービスを進める。
- ・患者さん、利用者さんのプライバシーを尊重する。
- ・診療情報を患者さん、利用者さん自身にお伝えする。
- ・より良いサービスが行われるよう研修、研鑽する。
- ・患者さん、利用者さんの人生が最後まで豊かであるように、その意思を尊重する。

平成27年04月01日

一般財団法人脳神経疾患研究所 泉崎南東北リハビリテーション・ケアセンター

センター長 小林 利男



いずみざき南東北

第178号(令和7年4月発行)

<http://www.izumizaki-rehabili.com/>

ホームページも随時更新中です。ぜひご覧ください!



◆泉崎南東北診療所
◆泉崎南東北リハビリテーション・ケアセンター
住所:泉崎村大字泉崎字山ヶ入56
電話:0248-53-2415

◆泉崎南東北居宅介護支援事業所
◆泉崎南東北訪問看護ステーション
住所:泉崎村大字泉崎字山ヶ入101
(泉崎村総合保健福祉センター内)
居宅電話:0248-54-1888
訪問看護電話:0248-53-3533

◆軽度認知障害について

軽度認知障害とは認知症と診断される手前の状態のことで、認知症に進行する場合がありますが、適切な予防をすることで健常な状態に戻る事もあります。

【特徴】

軽度認知障害の特徴としては記憶力の軽度低下があります。以前と比べて物忘れが増えたり、周りの人から物忘れを指摘されることが多くなった場合は注意が必要です。ただ軽度認知障害は日常生活(家事や移動、金銭管理等)には支障は出ていないことが多く、必ず認知機能が低下していくわけではありません。

【対策と予防】

軽度認知障害から認知症に移行しない為にも早期の認知症予防が大切です。適切な予防をすることで、健常な状態への回復や認知症への移行を遅らせることが期待できます。

- ① 生活習慣病：認知症予防としてはまず生活習慣病に注意することがあげられます。特に糖尿病や脳卒中は認知症の危険性を高めるとされており注意が必要です
- ② 運動：運動習慣がある人は認知症のリスクが低くなると言われています。また週3回以上の運動を行う、複数の種類の運動を行うことでより効果的だとされています。
- ③ 食事：脳機能を維持する為には栄養は必要です。また食事は栄養を摂るだけでなく、五感を刺激してくれます。食事を通して季節を感じたり、人と食事することで社会的な交流をすることができます。
- ④ 他者との交流：認知症の発症や進行予防をする上で他者との会話や交流は重要です。直接会っての交流だけでなく、電話等での交流も効果的です。またボランティアや趣味、スポーツ等の社会的活動も大切です。

【まとめ】 軽度認知障害では、一年で約5~15%の人が認知症に移行する一方で、約16~41%の人が健常な状態になることがわかっています。物忘れが増えたり、家族や周囲に物忘れを指摘されることが増えたと感じたら、早めに認知症の予防を行ってみてください。引用元 厚生労働省「軽度認知障害について」

《お知らせ》

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、次のような取り組みを行っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

【診療所】

- 診療を受ける方および付き添いの方全員のマスク着用、手の消毒、検温をお願いしております。
- 診療所内の消毒と換気を毎日実施しております。

【老健施設】

- 原則として、入所者の外泊を禁止しております。
- 通所リハビリ利用者に毎日の体調確認と検温を実施しております。
- 施設内および送迎車両の消毒と換気を毎日実施しております。

※泉崎公開講座の開催は当面見合わせます。何卒ご了承下さい。



通所リハビリ

皆でトランプ♪



通所では、体操やマシントレーニング以外にも皆で楽しめるレクリエーションも同時に行っています♪

入所

皆さんと一緒に作った桜の前でパシャリッ♪♪
暖かくなったら本物の桜の前で写真撮影しましょうね😊



早く暖かくなれないかなあ～(#^.^#)

リハビリテーション

失語症とは？

脳を損傷してしまったことが原因で「聞く」「話す」「読む」「書く」などの機能が障害され、言葉をうまく使えなくなった状態を指します。

その原因は、約9割が脳梗塞や脳出血、クモ膜下出血などの脳卒中による後遺症だと言われています。

具体的な症状

- ☑ 相手の話を理解できない
- ☑ 伝えたい言葉がうまく出てこない
- ☑ 言葉を言い間違える
- ☑ 相手の言ったことを復唱できない
- ☑ 文字や文の意味を理解できない・読めない・書けない



言葉の機能を取り戻すリハビリテーションの専門職は言語聴覚士です。
何か困っていることがあれば、一度ご相談ください。

ヒサのナデシコプロジェクト

3.11の被災地である南三陸町の被災者(行方不明者)が通っていたピアノ教室の先生にプレゼントした花が今も咲続け全国各地へ株分けされ、記憶の風化をさせない活動を実施しています。

昨年、当施設も株分けをして頂き、利用者様と一緒に鉢植えを行いました。現在も元気に成長し、株の数も少しずつ増え、今年も綺麗なナデシコの花が咲くのを楽しみにしています。

